

平成30年度「子どもを共に育む『親支援』プログラム」プロジェクト会議 委員一覧

資料 1

全体統括部会			
学識経験者・民間団体等	佛敎大学教育学部名誉教授	西岡 正子【議長】	子ども若者はぐくみ局長
	京都市民生児童委員連盟	矢野 武也(理事)	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部担当部長
	(社福)京都市社会福祉協議会	細川 みゆき (児童館部長)	児童福祉センター院長
	(NPO)子育て支援コミュニティ おふいすパワーアップ	丸橋 泰子(代表)	教育次長
	(NPO)京都子育てネットワーク	藤本 明美(理事長)	子育て支援総合センターこどもみらい館館長
	はのんの会	長谷川 ユリ(代表)	
	京都市PTA連絡協議会	大澤 彰久 (会長・安朱小PTA会長)	
	京都「おやじの会」連絡会	小倉 誠一(会長)	
	(一社)京都府医師会	禹 満(理事)	
	(公社)京都府助産師会	丹所 紀代子(会長)	
	京都商工会議所	才寺 篤司 (理事・事務局長・総務部長)	
	(一社)京都経済同友会	豊田 博一(理事・事務局長)	

妊娠期乳幼児期部会		
民間団体・関係機関等	(公社)京都市保育園連盟	内山 茂樹(岡崎幼稚園長)
	京都市日本保育協会	紺谷 典子(ももの木学園幹事)
	京都市保育士会	北川 洋子(会長)
	(公社)京都市児童館学童連盟	山崎 真由美(西賀茂児童館長)
	(公社)京都市私立幼稚園協会	寺西 佐世 (寺西幼稚園 主事)
	京都市私立幼稚園PTA連合会	後藤 文美 (下鴨幼稚園PTA 私P連副会長)
	京都市立幼稚園PTA連絡協議会	村田 真由子 (中京もえぎ幼稚園PTA 副会長)
	京都市立幼稚園長会	米村 洋子 (会長・中京もえぎ幼稚園長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課	村井 清則(課長)
	子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室	長谷川 秀司(幼保企画課長)
本市行政関係	児童福祉センター	阿嘉 了道(相談課長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	寺山 京美(母子保健担当課長)
	区役所・支所子どもはぐくみ室	池上 孝子(東山・子どもはぐくみ課長)
	教育委員会指導部学校指導課	田中 順子(首席指導主事)
	子育て支援総合センターこどもみらい館事業課	荒武 みすず
オブザーバー	教育委員会指導部総合育成支援課	中村 一郎(首席指導主事)

事務局庶務
子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課(℡:748-0016)
子育て支援総合センターこどもみらい館事業課(℡:254-5001)

学童期思春期部会		
民間団体・関係機関等	(公社)京都市児童館学童連盟	三浦 正人(御室児童館長)
	京都市小学校PTA連絡協議会	山本 一史 (副会長・醍醐小PTA会長)
	京都市立中学校PTA連絡協議会	岩佐 恭子 (庶務・嘉楽中PTA会長)
	京都市小学校長会	高宮 佳彦 (会長・大宮小学校長)
	京都市立中学校長会	玉梶 誠一 (会長・樫原中学校長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	中西 茂人(課長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	寺山 京美 (母子保健担当課長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	西川 隆志(放課後連携教育主事)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	長谷川 賢嗣(放課後連携教育主事)
	区役所・支所子どもはぐくみ室	池上 孝子(東山・子どもはぐくみ課長)
本市行政関係		松下 誠太郎(首席指導主事)
	教育委員会指導部学校指導課	宮田 功(首席指導主事)
	教育委員会指導部生徒指導課	小幡 昌史(子ども支援専門官)
	教育委員会指導部総合育成支援課	中村 一郎(首席指導主事)
		下山 純一(学校地域協働推進課長)
	教育委員会生涯学習部	稲葉 弘和(統括首席社会教育主事)
		村田 博伸(首席社会教育主事)

プロジェクト会議事務局	
こころの健康増進センター所長	波床 将材
子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部長	上田 廣久
右京区役所子どもはぐくみ室長	笠井 八千代
教育委員会指導部担当部長	清水 康一
教育委員会生涯学習部長	春田 寛
教育相談総合センター所長	池田 忠
子育て支援総合センターこどもみらい館事務局長	奥 孝司

青少年のための親学習部会		
民間団体・関係機関等	(公社)京都市保育園連盟	内山 茂樹(岡崎幼稚園長)
	京都市日本保育協会	川島 永嗣 (副会長幹事・こども園ゆりかご)
	(公社)京都市私立幼稚園協会	寺西 佐世 (寺西幼稚園 主事)
	(公社)京都市児童館学童連盟	三浦 正人(御室児童館長)
	(公社)京都府助産師会	山上 恭子(副会長)
	(社福)京都市社会福祉協議会	細川 みゆき (児童館部長)
	京都市民生児童委員連盟	矢野 武也(理事)
	京都市立幼稚園長会	米村 洋子 (会長・中京もえぎ幼稚園園長)
	京都市小学校長会	高宮 佳彦 (会長・大宮小学校長)
	京都市立中学校長会	玉梶 誠一 (会長・樫原中学校長)
本市行政関係	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	中西 茂人(課長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	寺山 京美 (母子保健担当課長)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	西川 隆志(放課後連携教育主事)
	子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課	長谷川 賢嗣(放課後連携教育主事)
	子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室	渡邊 真美(地域子育て支援課長)
	区役所・支所子どもはぐくみ室	池上 孝子(東山・子どもはぐくみ課長)
		関 智也(担当課長)
	教育委員会指導部学校指導課	西村 弘滋(首席指導主事)
		島 さやか(指導主事)
	教育委員会生涯学習部	下山 純一(学校地域協働推進課長)
		稲葉 弘和(統括首席社会教育主事)
		村田 博伸(首席社会教育主事)

「子どもを共に育む『親支援』プログラム」プロジェクト会議の開催状況等

1 プロジェクト会議の目的

「子どもを共に育む京都市民憲章」の趣旨を踏まえ、親自身が「親」としての心構えや必要な知識、技術等を子どもの発育・発達段階に応じて学べるとともに、そうした「親の学び」を支援する者を養成する体系的なシステムを開発し、保育所、幼稚園及び学校にとどまらず、保健福祉センター、児童館等で展開できる仕組みや、これから親となる世代の親学びの場を構築するため、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として開催する。

2 プロジェクト会議の構成

(1) 全体統括部会

会議の開催目的を達成するためのプログラム案及び確定したプログラム（以下「確定プログラム」）を実践するための様々な環境整備について意見を求める。

(2) 年代別部会

プログラム案の作成及び確定プログラムの実践、課題の整理、改訂の検討等について意見を求める。

ア 妊娠期乳幼児期部会（対象：妊娠期乳幼児期の子どもの保護者）

イ 学童期思春期部会（対象：学童期思春期の子どもの保護者）

ウ 青少年のための親学習部会（対象：青少年）

3 具体的なプログラム

(1) ほっこり子育てひろば（平成 22 年 3 月に作成）

妊娠期から思春期の子どもを持つ保護者が、少人数のグループに分かれ、全 14 テーマのいずれかに基づいてお互いの思いや考え、悩みを話し合うことを通し、子育てについての不安解消や気づきを促すプログラム。

平成 25 年度中には、プログラムの活用促進及び改善のため一部改訂し、平成 28 年度中には、ほぼ全ての保護者が参加する「就学時健康診断」や「入学前説明会」で活用できる短時間プログラムを新たに開発している。

<実施状況>

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
実施回数	224	624	913	1,474	1,351	1,552	1,763	1,688
参加人数	3,382	8,119	10,606	15,392	15,624	16,129	18,005	17,121

(2) 青少年のための親学習プログラム（平成 25 年 3 月に作成）

青少年がふれあう対象を①妊婦及び新生児の保護者、②乳児、③幼児の三つに分け、それぞれのふれあいの仕方について、中学校や児童館等で取り組まれている内容を事例集として整理したもの。

<取組例>

ア 児童館における「中高生と赤ちゃんとの交流事業」

イ 中学校における「幼児とのふれあい活動」 など

4 開催概要

年度	月日	部会	議題・協議事項等	備考
20	10月10日	全体統括・年代別合同	・プロジェクト会議設置の説明 ・議長、副議長の選出 ・親支援プログラムの概要、方針 ・今後の進め方	・プロジェクト会議の設置 (20年10月)
	11月25日	妊娠期乳幼児期部会	・妊娠期乳幼児期部会の全体構想	
	11月25日	学童期思春期部会	・学童期思春期部会の全体構想	
	12月18日	学童期思春期部会	・学童期思春期プログラム(骨子)	
	1月16日	学童期思春期部会	・学童期思春期プログラム(骨子)	
	1月26日	妊娠期乳幼児期部会	・妊娠期乳幼児期プログラム(素案)	
	2月6日	学童期思春期部会	・学童期思春期プログラム(素案)(前回修正案の反映)	
	3月25日	全体統括部会	・年代別部会からの報告 ・平成21年度以降の進め方	
21	5月26日	学童期思春期部会	・学習プログラム素案 ・学習プログラムの施行実施と検討体制(チーム編成)	・親支援プログラム施行実施 (21年4月～) ・親支援プログラム完成 (22年3月)
	6月24日	妊娠期乳幼児期部会	・学習プログラム素案(支援者用テキスト) ・学習プログラムの施行実施と活用場所	
	6月29日	全体統括部会	・各年代部会からの報告 ・学習プログラムの施行実施と活用場所 ・親の学び冊子の概要(案)	
	9月24日	学童期思春期部会	・学習プログラム素案 ・学習プログラムの施行実施	
	10月20日	学童期思春期部会	・学習プログラム素案(修正) ・支援者用テキスト(案) ・支援者の養成に向けて	
	11月9日	妊娠期乳幼児期部会	・施行実施の結果(報告) ・プログラム内容の修正 ・来年度の本格実施に向けて	
	12月10日	全体統括部会	・各年代部会からの報告 ・リーフレット(案) ・プログラムの名称	
	2月15日	学童期思春期部会	・本格実施に向けて ・支援者養成講座 ・今後の部会運営	
	3月12日	全体統括部会	・各年代部会からの報告 ・リーフレット(案) ・学習プログラムの名称 ・今後の取組(支援者養成講座等)	
22	3月2日	全体統括部会	・プログラム策定後の取組状況(報告) ・今後の予定	・本格実施(22年4月～) ・支援者養成講座
23	3月15日	全体統括部会	・親支援プログラムの充実策(協議) ・青少年のための親学習プログラム(説明)	
24	7月24日	青少年親学習部会	・青少年のための親学習プログラム概要(説明) ・取組事例発表 ・今後の進め方(協議)	・青少年のための親学習 部会の設置(24年7月) ・青少年のための親学習 プログラム完成(25年3月)
	12月6日	青少年親学習部会	・青少年のための親学習プログラム(素案)の意見交換	
	2月20日	青少年親学習部会	・青少年のための親学習プログラム(案)の意見交換	
	3月12日	全体統括部会	・実施状況(報告) ・青少年のための親学習部会からの報告・提案 ・青少年のための親学習プログラムと今後(意見交換)	
25	10月 (8月～)	妊娠期乳幼児期部会 (学童期思春期部会)	・取組の憲章 ・活用事例集の作成 (修正作業チームによる60分プログラムの作成)	・親支援プログラム一部改訂 (26年3月)
	3月19日	全体統括・年代別合同	・実施状況(報告) ・活用事例集の作成、プログラムの改訂 ・ほっこり子育てひろばの実施拡大 ・青少年と乳幼児とのふれあい事業	
26	3月12日	全体統括・年代別合同	・取組経過と実施状況(報告) ・各団体における今後の実施拡大に向けた取組(意見交換) ・青少年と乳幼児とのふれあい事業 ・京都市未来こどもはぐくみプランの策定(報告)	
27	3月14日	全体統括・年代別合同	・実施状況(報告) ・今後の取組(協議) ・はばたけ未来へ!京プラン後期実施計画(報告)	
28	(8月～)	(学童期思春期部会)	(修正作業チームによる30分プログラムの作成)	・短時間プログラムの試行 (28年10月～)
	2月6日	全体統括・年代別合同	・実施状況(報告) ・今後の取組(短時間プログラムの施行) ・子ども若者はぐくみ局の創設(報告)	
29	3月28日	全体統括・年代別合同	・実施状況(報告) ・今後の取組(短時間プログラムの実施) ・子ども若者はぐくみ局の創設(報告)	

平成29年度「ほっこり 子育て ひろば」実施実績

資料3-1

【平成29年度】

テーマ	保育所						幼稚園						小規模保育	児童館	つどいの広場		保健センター		こどもみらい館		小学校		中学校		その他		総計		
	市営		民営		合計		市・国立		私立		合計																		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数																	
赤ちゃんのいる生活イメージ		3			1	3											40	711									41	714	
離乳食	11	79	33	200	44	279								12	61	16	94	22	218	9	67						103	719	
親子でいっしょに遊ぼう	23	168	169	1,115	192	1,283			14	148	14	148		181	1,314	62	501	63	923	5	41						517	4,210	
自我の芽生えと生活習慣	33	257	17	82	50	339	10	49			10	49		35	269	9	64	65	714	5	35						174	1,470	
子どもとのかかわり方	26	287	23	445	49	732	98	615			98	615		50	412	21	153	46	600								264	2,512	
(全)いつくしむ	63	532	11	89	74	621	9	58	1	25	10	83		36	338	28	196	223	3,039	4	25	3	36	1	13	1	150	380	4,501
(全)受けとめる	4	37	1	7	5	44	2	7			2	7		2	17	1	8					12	208				22	284	
(全)認める	30	217			30	217	21	112	1	43	22	155		2	10	1	8					3	42			1	22	59	454
(全)つながる			6	143	6	143	7	89			7	89		54	364	8	53										75	649	
歩む	4	50			4	50	2	30			2	30		1	36							27	1,156	1	30		35	1,302	
身につける			2	44	2	44	5	16			5	16										2	26				9	86	
見守る																						2	41	1	22		3	63	
ふれあう																						3	106				3	106	
はばたく																						3	51				3	51	
合計	195	1,630	262	2,125	457	3,755	154	976	16	216	170	1,192		373	2,821	146	1,077	459	6,205	23	168	55	1,666	3	65	2	172	1,688	17,121

【平成28年度】

テーマ	保育所						幼稚園						小規模保育	児童館	つどいの広場		保健センター		こどもみらい館		小学校		中学校		その他		総計			
	市営		民営		合計		市・国立		私立		合計																			
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数																		
赤ちゃんのいる生活イメージ		4			1	4								2	17			44	830									47	851	
離乳食	19	133	20	141	39	141								21	211	4	24	9	95	14	130							87	734	
親子でいっしょに遊ぼう	43	256	162	1,236	205	1,492	1	10	11	100	12	110		285	1,915	59	392	71	1,395	2	11							634	5,315	
自我の芽生えと生活習慣	47	340	12	121	59	461	1	8			1	8		38	283	15	67	69	793	6	47							188	1,659	
子どもとのかかわり方	29	321	21	296	50	617	84	592			84	592		69	472	8	86	50	543									261	2,310	
(全)いつくしむ	44	339	4	18	48	357	21	130			21	130		19	211	17	112	216	3,590	6	56	3	55					330	4,511	
(全)受けとめる	4	44	1	9	5	53	7	36	1	42	8	78		4	56	5	33					3	30					25	250	
(全)認める	10	110	1	20	11	130	49	293	1	6	50	299		5	68	1	8					7	139					74	644	
(全)つながる	6	62	3	26	9	88								41	320	9	39					1	11					60	458	
歩む	1	20	1	6	2	26	2	33			2	33		1	40							20	645					25	744	
身につける			3	35	3	35	4	25			4	25				5	17					6	165					18	242	
見守る																						9	132	2	86			11	218	
ふれあう																						2	36					2	36	
はばたく																						1	33					1	33	
合計	204	1,629	228	1,908	432	3,537	169	1,127	13	148	182	1,275			485	3,593	123	778	459	7,246	28	244	52	1,246	2	86			1,763	18,005

資料3-2

テーマ	保育所						幼稚園						小規模保育		児童館		つどいの広場		保健センター		こどもみらい館		小学校		中学校		その他		総計	
	市営		民営		合計		市・国立		私立		合計																			
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数		
赤ちゃんのいる生活イメージ		2			1	2									4	15			18	307								23	324	
離乳食	2	11	1	6	3	17								5	43	6	33	11	98	14	142						39	333		
親子でいっしょに遊ぼう	10	72	22	104	32	176			6	68	6	68		103	671	13	83	36	674	4	26						194	1,698		
自我の芽生えと生活習慣	5	50	1	9	6	59								13	89	4	35	37	294	1	4						61	481		
子どもとのかかわり方	5	55			5	55	31	274			31	274		18	99	4	25	2	28								60	481		
(全)いつくしむ	13	121			13	121	12	53			12	53		16	84	3	35	142	1,620	3	30	3	55				192	1,998		
(全)受けとめる	2	31			2	31	11	50			11	50		1	8												14	89		
(全)認める	2	21			2	21	17	84			17	84		1	3						1	50					21	158		
(全)つながる							1	4			1	4		11	72	5	30										17	106		
歩む														1	50												1	50		
身につける							2	9			2	9		2	29						2	40					6	78		
見守る														4	22						1	18					5	40		
ふれあう																														
はばたく																														
合計	40	363	24	119	64	482	74	474	6	68	80	542			179	1,185	35	241	246	3,021	22	202	7	163				633	5,836	

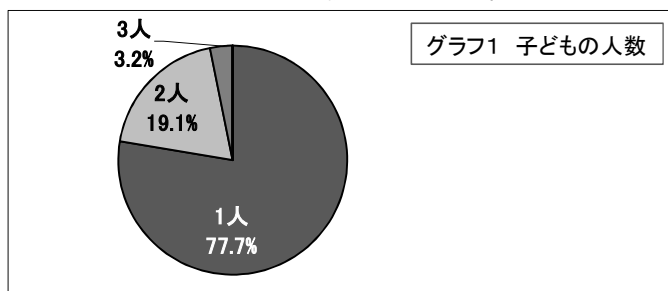
[illegible]

合計	46	438	12	67	58	505	66	375	6	90	72	465		128	903	44	272		11	83	9	214	1	22		323	2,464
----	----	-----	----	----	----	-----	----	-----	---	----	----	-----	--	-----	-----	----	-----	--	----	----	---	-----	---	----	--	-----	-------

テーマ別のアンケート回収数 （表1）

テーマ名	回答数	構成比
赤ちゃんのいる生活イメージトレーニング	0	0.0%
離乳食	16	17.0%
親子でいっしょにあそぼう	38	40.4%
自我のめばえと生活習慣	9	9.6%
子どもとのかかわり方	2	2.1%
いつくしむ	25	26.6%
受けとめる	0	0.0%
認める	4	4.3%
つながる	0	0.0%
歩む	0	0.0%
身につける	0	0.0%
計	94	100.0%

Q1 あなたのお子さんについて教えてください。



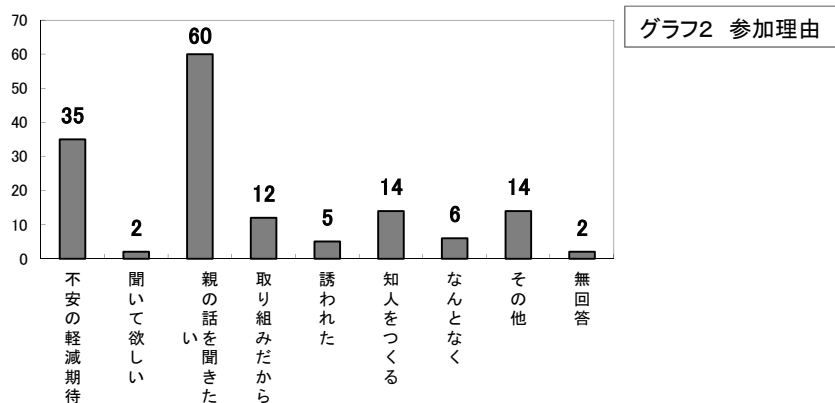
Q2 あなたは、子育てで悩んでいたことや不安に思っていたことがありましたか。

あった・・・ 78.7%

（自由記述で多かった内容）

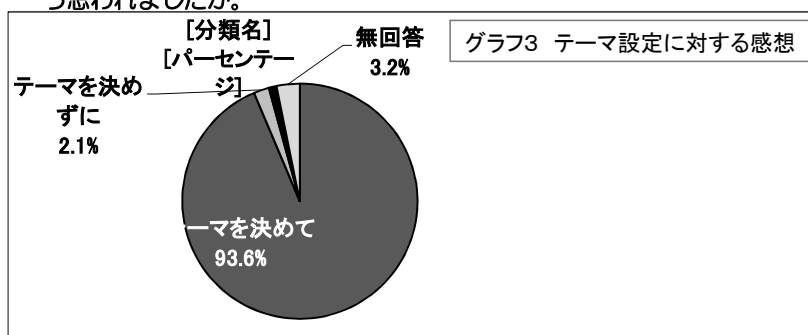
- ☐ 生活習慣（夜泣き、寝ない、生活リズム、）
- ☐ 母乳（量、卒乳）
- ☐ 離乳食（作り方、量、メニュー、進め方）
- ☐ 発達（ハイハイ・歩行、体重の増え方、人見知り、発達の遅れ）
- ☐ 子どもへの対応（イヤイヤ期、こだわり、泣いている理由が分からない）
- ☐ 子どもとの遊び（遊び方、TVやスマホとの付き合い方）
- ☐ 他児との関わり
- ☐ 自分の子育てについて（正しいのか間違っているのか全てが不安、自分自身の気持ちのコントロール）
- ☐ 兄弟との関係、対応
- ☐ 動きが増え、安全を確保したり、危険や禁止がなかなか伝わらない

Q3 このプログラムに参加された理由は何ですか（複数回答可）

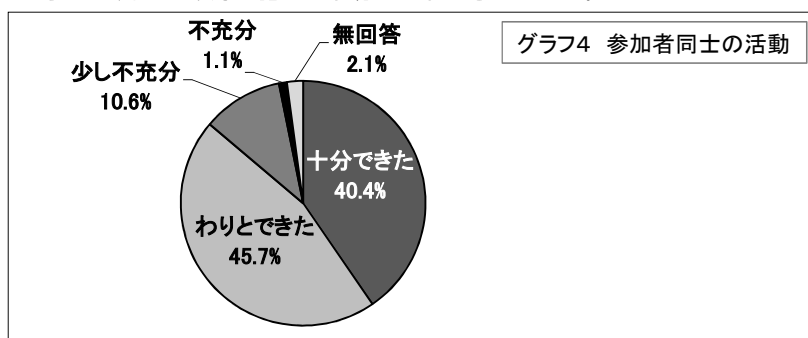


- ☐ 引越してきたばかりのため来て見ようと思った。
- ☐ 子どもが家とは違う場所で遊んでよい刺激を感じて欲しかった。
- ☐ 今後の参考にしたいため。とにかく外に出たかった。

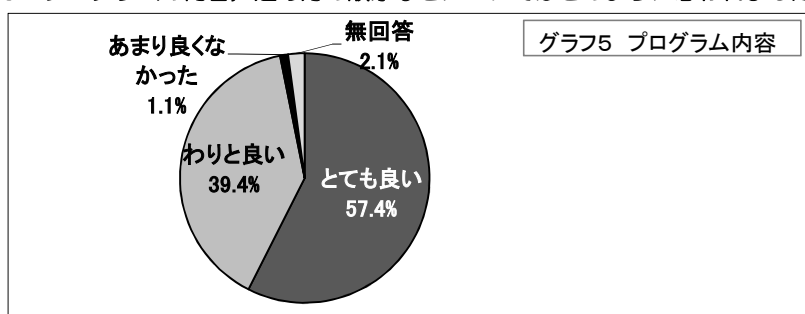
Q4 このプログラムは、参加者同士で一つのテーマについて話し合う方式でしたが、この方式についてどう思われましたか。



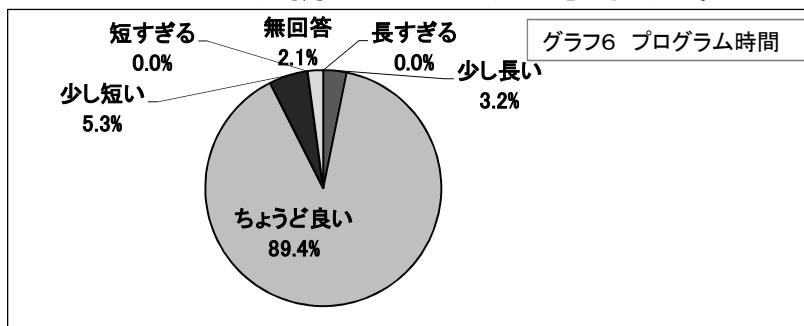
Q5 参加者同士で十分に話したり聴いたりできましたか。



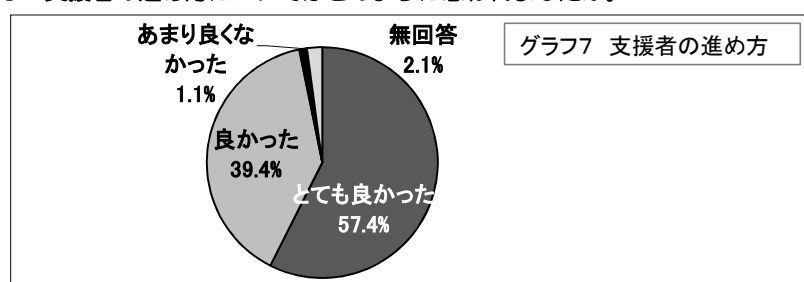
Q6 プログラムの内容、進め方の順序などについてはどのように思われましたか。



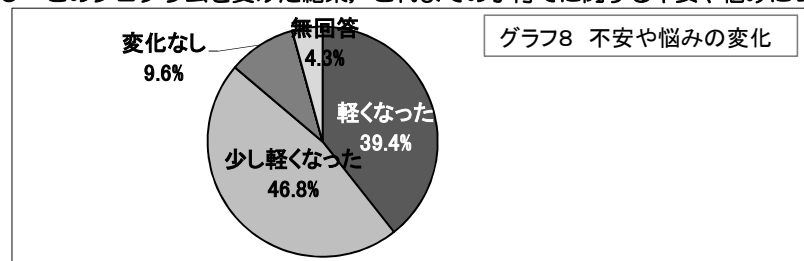
Q7 プログラムにかかった時間についてはどのように感じましたか。



Q8 支援者の進め方についてはどのように思われましたか。



Q9 このプログラムを受けた結果、これまでの子育てに関する不安や悩みについて変化はありましたか。



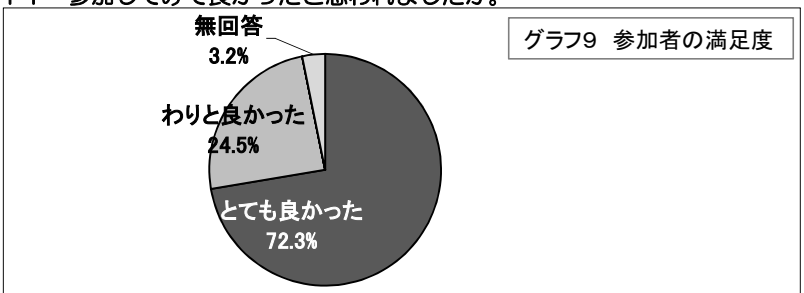
Q10 このプログラムに参加して自らの子育てに関して新たにまたは改めて気付いたことはありましたか。

あった・・・ 78.7%

(自由記述で多かった内容)

- ☐ 悩んでいるのは皆一緒だと安心しました。気持ちが楽になった。
- ☐ 他のお母さんの話を聞いて、自分ももっとゆったりと子育てしたいと思いました。
- ☐ 子育てって楽しいなあと思いました。
- ☐ 育児はいろいろあって良いということが解りました。ただ話をするだけでも気持ちが楽になった。
- ☐ 不安ながら前を向いて、子どもの成長に向き合っていこうと思った。
- ☐ 子育ての先輩の話が聞けて、今後の参考になった。
- ☐ 悩みまでいかない小さな疑問があったけど、人と話をしてみるだけで楽になった気がします。
- ☐ 育児は十人十色、だからこそ自分で情報を得ていきたいと思った。
- ☐ 気になるところも、見方を変えれば良いところになることがわかった。

Q11 参加してみて良かったと思われましたか。



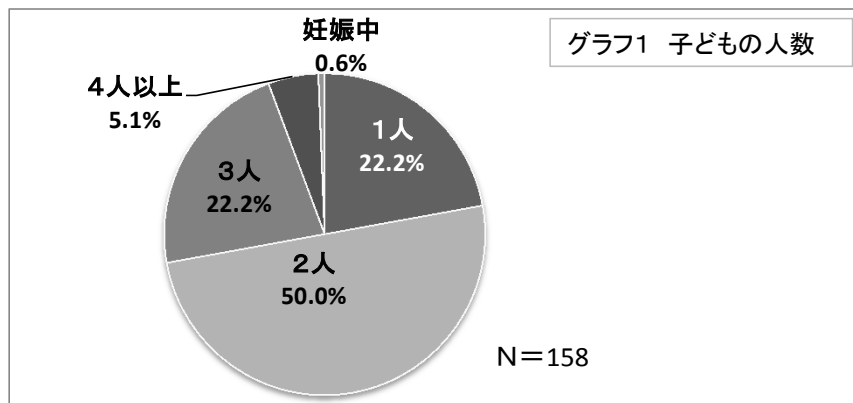
平成30年度「ほっこり子育てひろば」アンケート結果(学童期思春期部会所管分)
(平成30年9月末現在)

テーマ別のアンケート回収数

(表1)

テーマ名	回答数	構成比
いつくしむ	55	34.4%
受けとめる	0	0.0%
認める	50	31.3%
つながる	0	0.0%
歩む	0	0.0%
身につける	37	23.1%
見守る	18	11.3%
ふれあう	0	0.0%
はばたく	0	0.0%
合計	160	100.0%

Q1 あなたのお子さんについて教えてください



Q2 あなたは、子育てで悩んでいたことや不安に思っていたことがありましたか

あった . . . 83.1%

N=160

(自由記述で多かった内容)

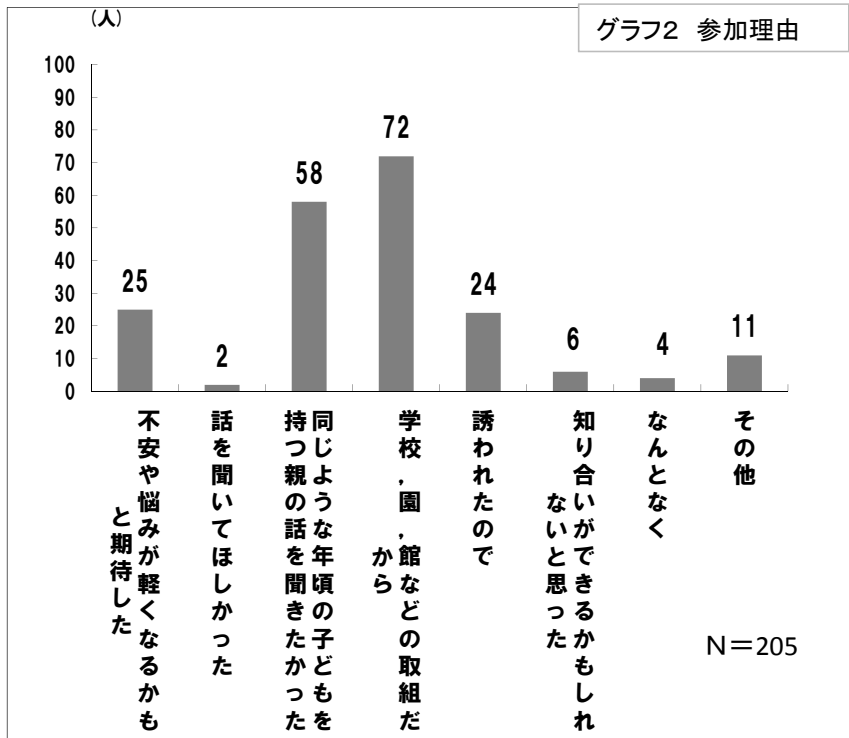
【親自身のこと】

- ☐ 子どもとの接し方、距離感。
- ☐ 反抗期、思春期の子どもへの接し方。
- ☐ 子どもの感情の受け止め方。
- ☐ 生活に追われ、子どもに向き合う時間や余裕がない。
- ☐ 親同士の付き合い方。

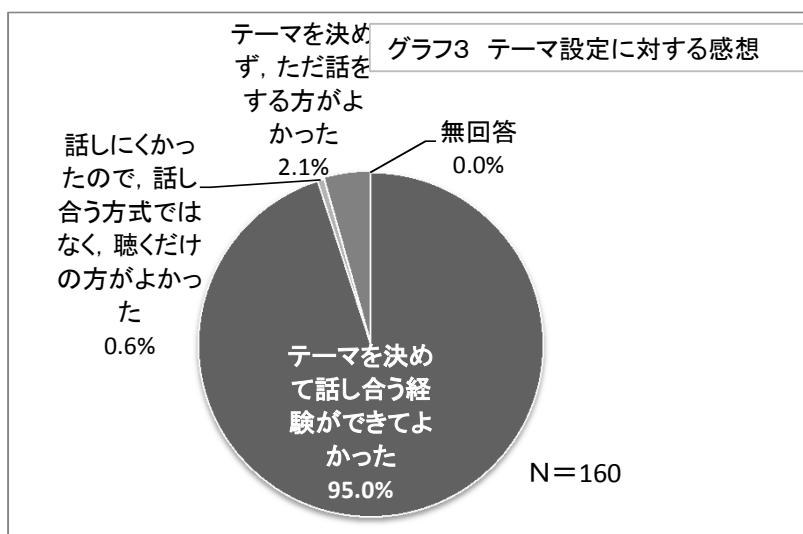
【こども自身のこと】

- ☐ 性格について。
- ☐ 生活習慣やマナーについて。
- ☐ 兄弟や友達との接し方。
- ☐ ゲーム依存。
- ☐ 勉強、宿題の進め方。

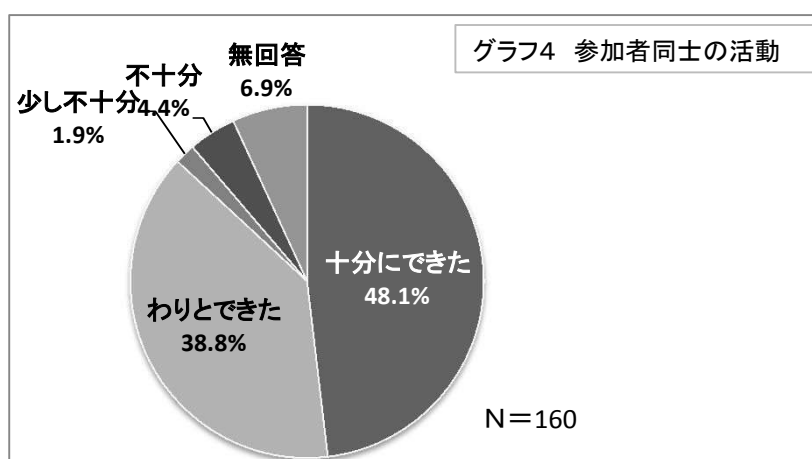
Q3 このプログラムに参加された理由は何ですか(複数回答可)



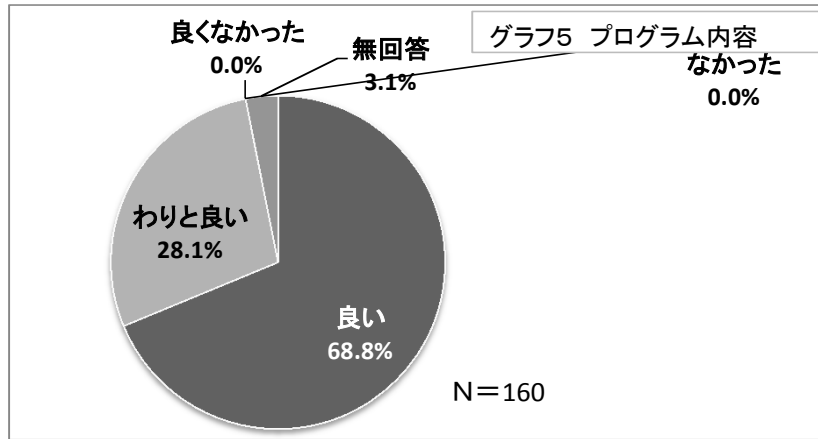
Q4 このプログラムは、参加者同士で一つのテーマについて話し合う方式でしたが、この方式についてどう思われましたか



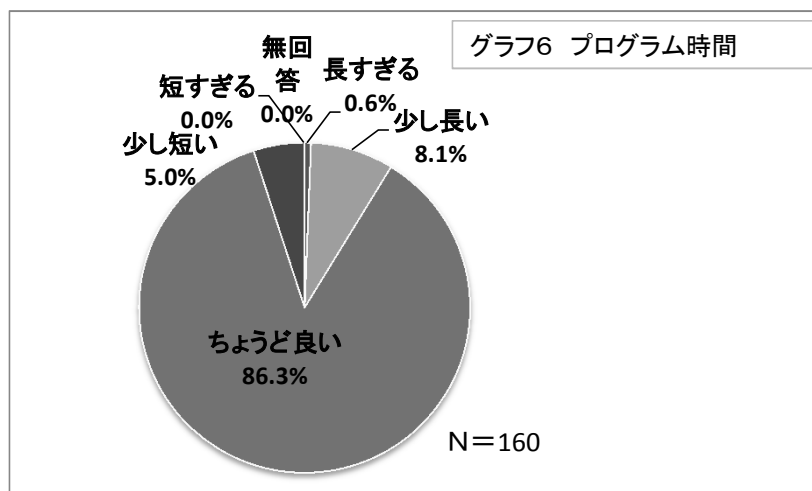
Q5 参加者同士で十分に聞いたり話したりできましたか



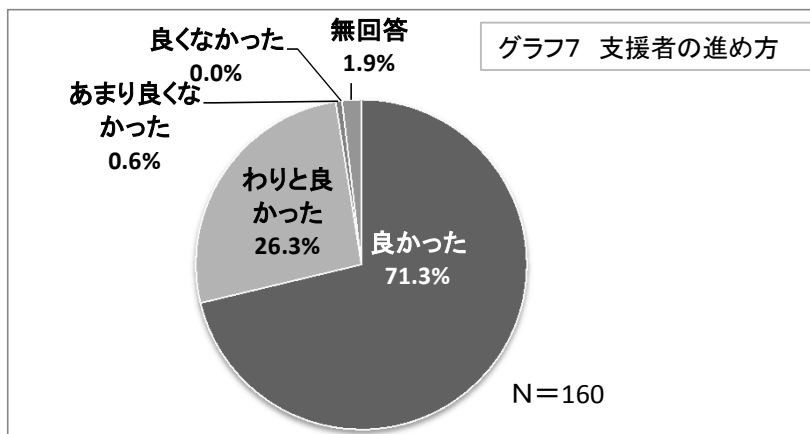
Q6 プログラムの内容, 進め方の順序などについてはどのように思われましたか



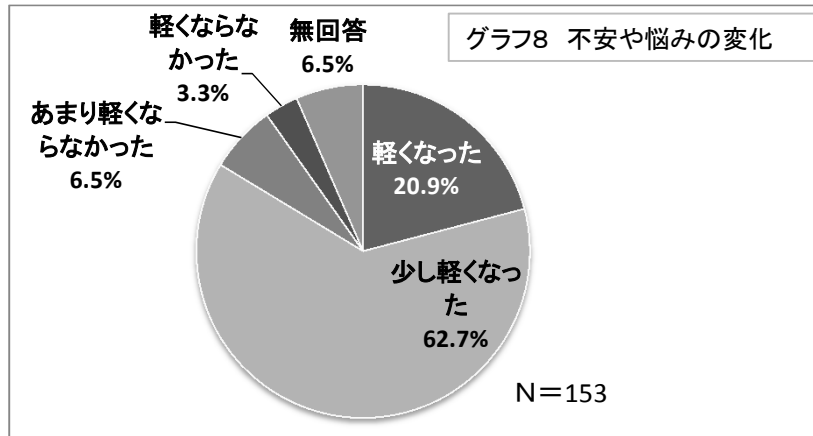
Q7 プログラムにかかった時間についてはどのように感じましたか



Q8 支援者の進め方についてはどのように思われましたか



Q9 このプログラムを受けた結果、これまでの子育てに関する不安や悩みについて変化はありましたか



Q10 このプログラムに参加して、自らの子育てに関して新たにまたは改めて気づいたことはありましたか

N=160

あった . . . 80.6%

(自由記述で多かった内容)

【子どもとの関わり】

- ☐ コミュニケーションやスキンシップが大切だと思った。
- ☐ 子どもとの時間を大切にしたいと思った。
- ☐ もっと愛情を注ぎたいと思った。
- ☐ 見守ることの大切さが分かった。

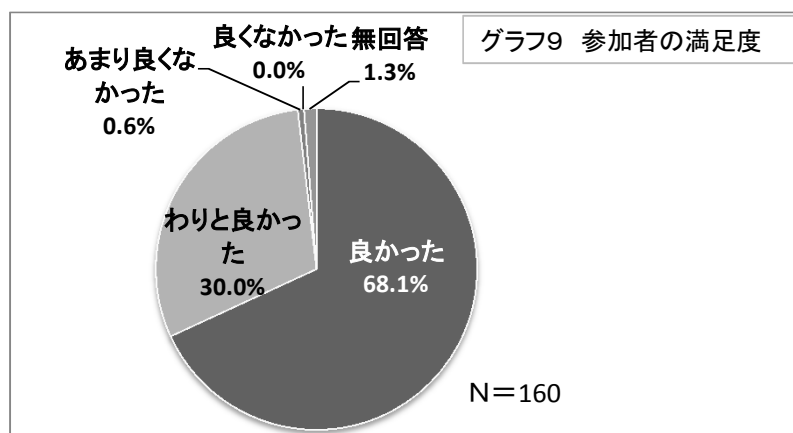
【親自身のこと】

- ☐ 悩みを共感してもらえると安心した。
- ☐ 感情的になっていたことを反省した。

【その他】

- ☐ 子育ては工夫が必要だと思った。
- ☐ ネット社会の影響について考えたい。
- ☐ 他の意見を聞き話し合うことで、気づくことも多い。

Q11 参加してみて良かったと思われましたか

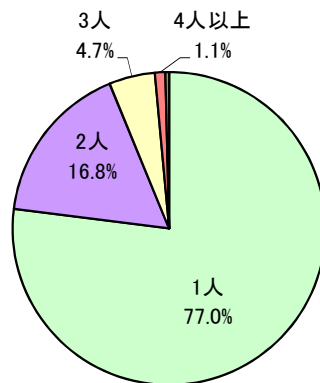


平成29年度「ほっこり子育てひろば」アンケート集計結果（妊娠期乳幼児期）

テーマ別のアンケート回収数

テーマ名	回答数	構成比
赤ちゃんのいる生活イメージトレーニング	0	0.0%
離乳食	48	16.9%
親子でいっしょにあそぼう	73	25.8%
自我のめばえと生活習慣	78	27.6%
子どものかかわり方	0	0.0%
いつくしむ	45	15.9%
受けとめる	10	3.5%
認める	9	3.2%
つながる	20	7.1%
歩む	0	0.0%
身につける	0	0.0%
計	283	100.0%

Q1 あなたのお子さんについて教えてください。



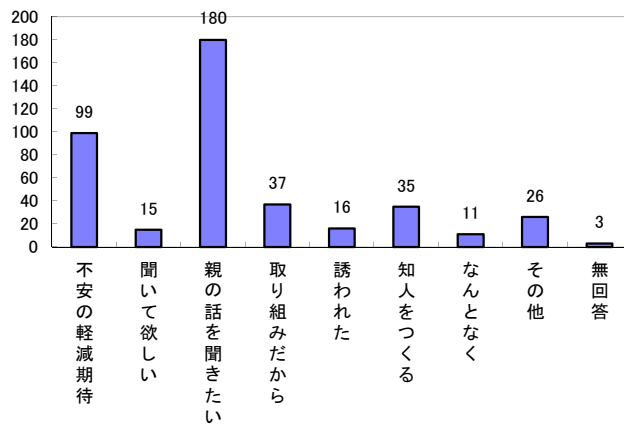
Q2 あなたは、子育てで悩んでいたことや不安に思っていたことがありましたか。

あった・・・84.3%

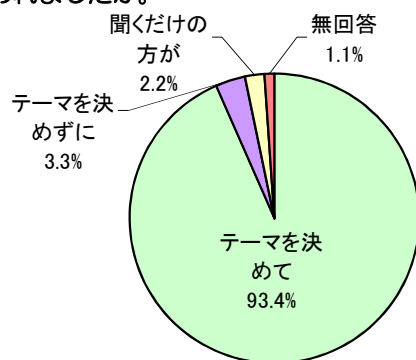
(自由記述で多かった内容)

- ☐ 生活習慣（食事の量、夜泣き、寝ない、歯みがき）
- ☐ 母乳（量、卒乳、回数）
- ☐ 離乳食（作り方、量、すすめ方、食物アレルギー）
- ☐ 発達（ハイハイ・歩行、体重の増え方、人見知り、発達の遅れ）
- ☐ 子どもへの対応（イヤイヤ期、こだわり、泣いている理由が分からない）
- ☐ 心配性なのでつねに不安
- ☐ 子どもとの遊び（TVやスマホとの付き合い方、日中の過ごし方）
- ☐ 他児との関わり
- ☐ 自分の子育てについて（正しいのか間違っているのか全てが不安、自分自身の気持ちのコントロール）
- ☐ 兄弟との関係、対応
- ☐ 入学、入園について
- ☐ 地域との関わり（引っ越してきた、近所迷惑になっていないか）
- ☐ ちゃんと子育てできるか

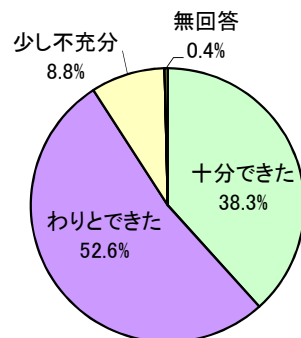
Q3 このプログラムに参加された理由は何ですか（複数回答可）



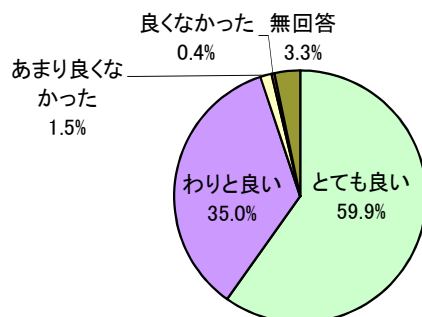
Q4 このプログラムは、参加者同士で一つのテーマについて話し合う方式でしたが、この方式についてどう思われましたか。



Q5 参加者同士で十分に話したり聴いたりできましたか。



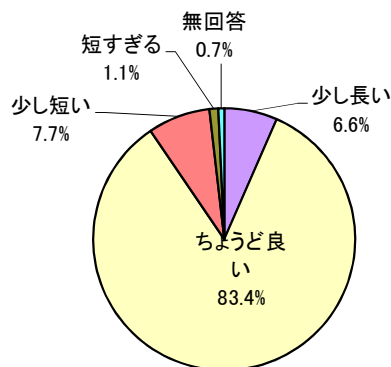
Q6 プログラムの内容、進め方の順序などについてはどのように思われましたか。



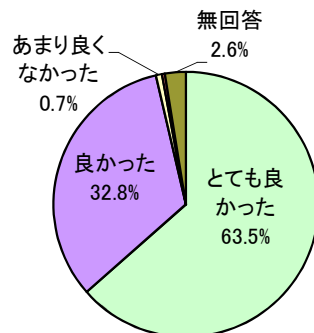
（あまり良くなかった、良くなかったと答えた人の理由）

□ グループ討議時、進行役が各グループに入って欲しかった。

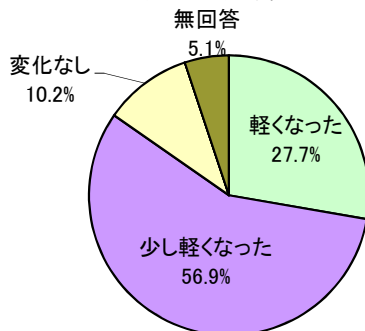
Q7 プログラムにかかった時間についてはどのように感じましたか。



Q8 支援者の進め方についてはどのように思われましたか。



Q9 このプログラムを受けた結果、これまでの子育てに関する不安や悩みについて変化はありましたか。



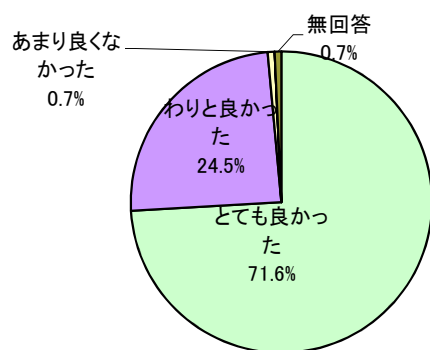
Q10 このプログラムに参加して、自らの子育てに関して新たにまたは改めて気付いたことはありましたか。

あった・・・ 77.7%

(自由記述で多かった内容)

- ☐ 悩んでいるのは自分だけではないと分かって、気持ちが楽になった。
- ☐ 改めて子育てには正解はないことがわかった。自分のペースで子育てを楽しむ。
- ☐ みんな子どもに対する気持ちは同じ。
- ☐ 地域との関わりをもっと持っていきたいと思った。
- ☐ いろいろな工夫やアイデアが聞けて参考になった。
- ☐ 他の方の意見を聞くことができて視野が広がった。
- ☐ 子育てを楽しもうと思った。
- ☐ 気持ちにゆとりを持つことは大事だと思った。

Q 1 1 参加してみて良かったと思われましたか。



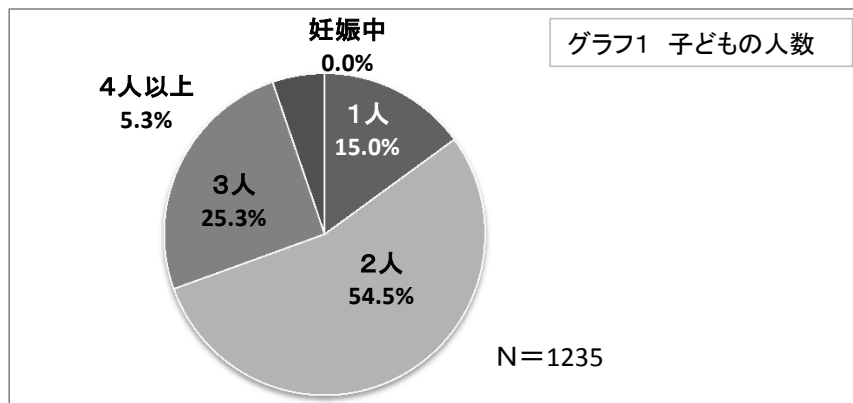
平成29年度「ほっこり子育てひろば」アンケート結果(学童期思春期部会所管分)

テーマ別のアンケート回収数

(表1)

テーマ名	回答数	構成比
いつくしむ	223	12.5%
受けとめる	194	10.9%
認める	85	4.8%
つながる	0	0.0%
歩む	1,054	58.9%
身につける	26	1.5%
見守る	58	3.2%
ふれあう	98	5.5%
はばたく	50	2.8%
合計	1,788	100.0%

Q1 あなたのお子さんについて教えてください



Q2 あなたは、子育てで悩んでいたことや不安に思っていたことがありましたか

あった . . . 75.5%

N=1788

(自由記述で多かった内容)

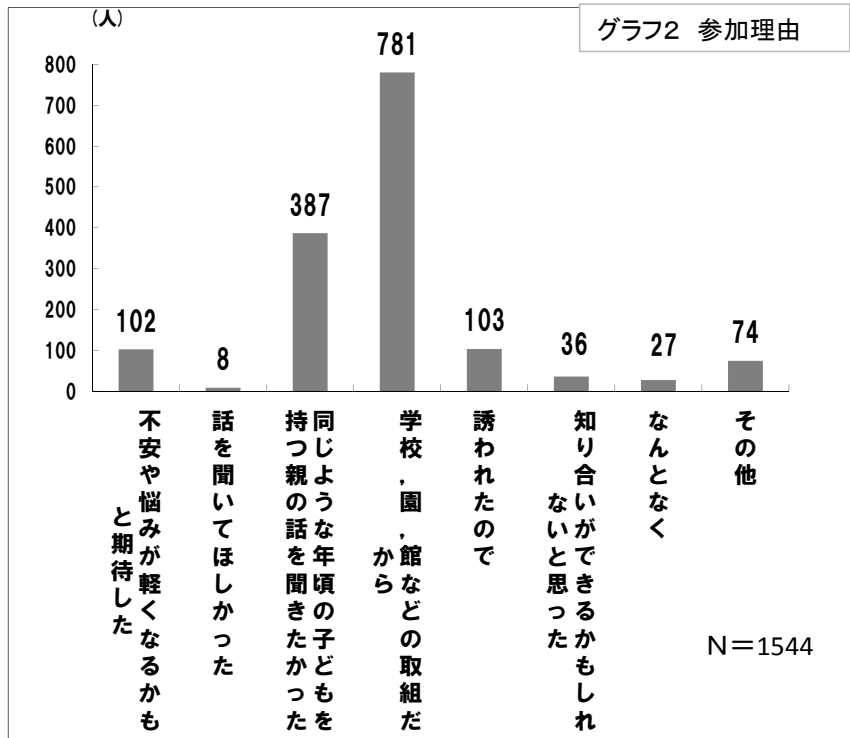
【親自身のこと】

- ☐ 子どもとの接し方, 子どもとの距離感など。
- ☐ 反抗期の始まった子どもへの接し方
- ☐ 子どもに対して, すぐに怒ってしまう, 叱り方
- ☐ 毎日の生活に追われ, 子どもに向き合う余裕がない

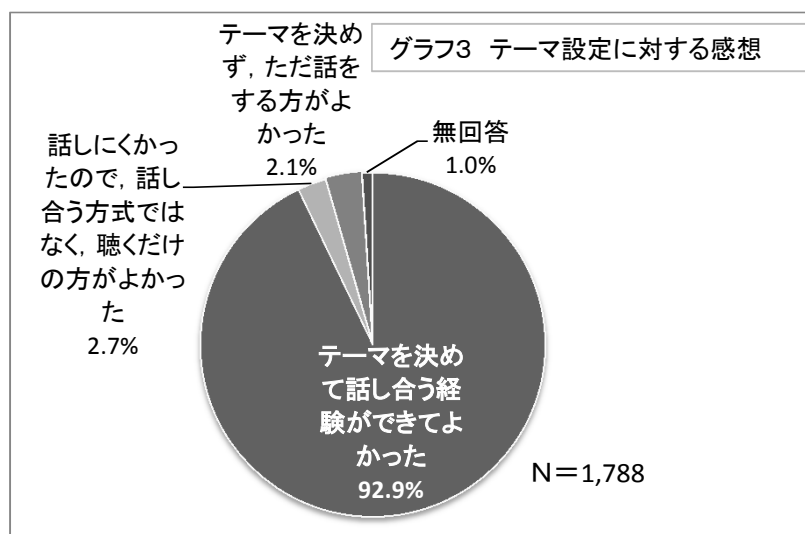
【子ども自身のこと】

- ☐ 子どもの友達との関わりかた。友達関係のトラブル。
- ☐ 子どもがゲームばかりして, 寝る時間も遅い。
- ☐ 家での宿題の進め方。
- ☐ 生活習慣について。時間の作りかた。

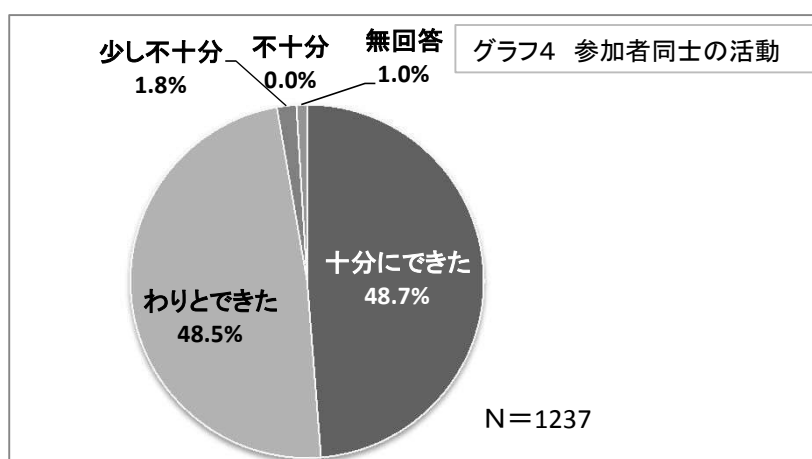
Q3 このプログラムに参加された理由は何ですか(複数回答可)



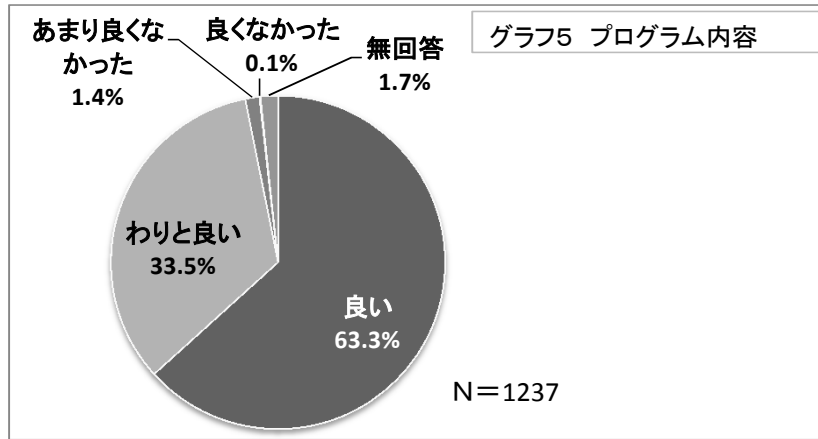
Q4 このプログラムは、参加者同士で一つのテーマについて話し合う方式でしたが、この方式についてどう思われましたか



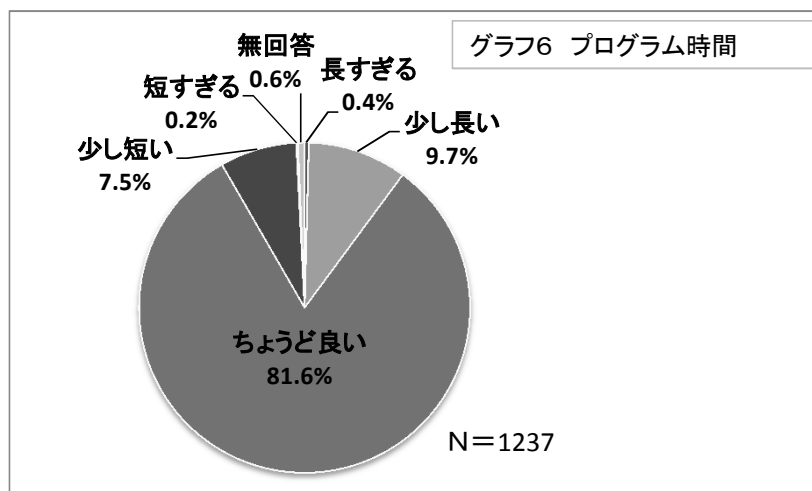
Q5 参加者同士で十分に聞いたり話したりできましたか



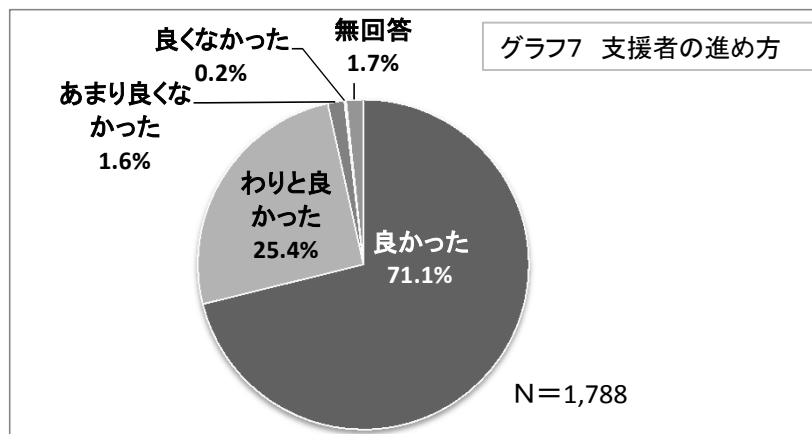
Q6 プログラムの内容, 進め方の順序などについてはどのように思われましたか



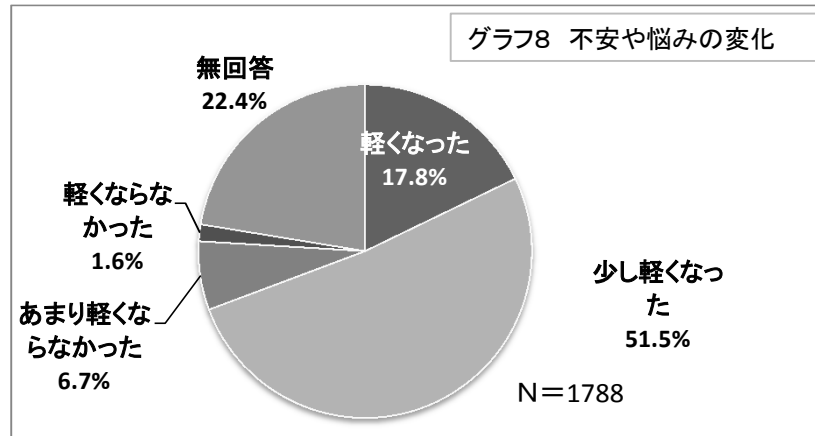
Q7 プログラムにかかった時間についてはどのように感じましたか



Q8 支援者の進め方についてはどのように思われましたか



Q9 このプログラムを受けた結果、これまでの子育てに関する不安や悩みについて変化はありましたか



Q10 このプログラムに参加して、自らの子育てに関して新たにまたは改めて気づいたことはありましたか

N=1788

あった . . . 75.3%

(自由記述で多かった内容)

【子どもとの関わり】

- ☐ 子どもの話をしっかり聞いてあげることは大切だと思った。
- ☐ 怒ってばかりいるので、もっとほめたいと思った。
- ☐ 見守ることで子どもが自分で考えたり、解決する力がついていくと思った。
- ☐ もっとスキンシップを取ろうと思った。

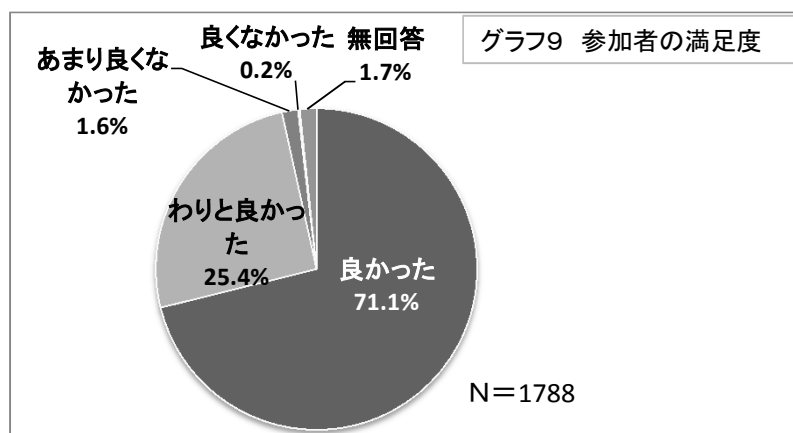
【親自身のこと】

- ☐ 自分の悩みを話し、共感してもらえると安心できた。
- ☐ みんな同じように子どもを大事に育てていることを感じた。
- ☐ 忙しいと言わずに、もっと子ども目線で話をしていきたいです。日々忙しいので反省しました。

【その他】

- ☐ 子どもを方をみて、これからも子育てを楽しみたいです。
- ☐ 人とのつながりを大切にしないといけないと思いました。
- ☐ 同じような年頃の子を持つお母さんと話したりすることの大切さ。

Q11 参加してみて良かったと思われましたか



「青少年と乳幼児のふれあい事業」実施状況（京都市児童館実施分）

京都市児童館 「中高生と赤ちゃんとの交流事業」

（１）事業目的

核家族化や少子化の進行により年長の子どもが乳幼児など年少の子どもたちと関わる機会が少なくなっている状況の中で、中高生が赤ちゃんと出会い、ふれあい、関わることにより、子育ての喜びや苦勞を学び、将来の子育てに対する不安を軽減することで、育児不安からくる児童虐待を予防するとともに、中高生の他者に対する関心や共感の能力を高め、赤ちゃんに対する愛情の感情を醸成し、中高生の健全育成を図ることを目的としている。

（２）主な取組

年間を通じた事業計画の中で、各館概ね５回程度、次のような取組を行っている。

ア 児童館における「中高生と赤ちゃんとのふれあい交流会」の開催

児童館または中学校、高校において中高生と赤ちゃん・保護者の交流を行う事業の中心的な取組

イ 「赤ちゃん講座」の実施

助産師などを講師に招き、赤ちゃん人形などを使った事前学習

ウ 関連施設の見学

保育所や新生児病棟などの施設見学による事前学習

エ 関連イベントへの参加・ボランティア体験

中高生による「乳幼児のひろば」などの企画・運営や乳幼児親子を対象とした季節行事への中高生の参加

（３）事業実績

＜参加者数＞

（単位：人）

年 度	実施箇所数	参 加 者 数			
		赤ちゃん	中高生	その他	合計
平成１４年度	５	１２２	１５５	１２７	４０４
平成１５年度	１０	４７６	４２４	５３４	１，４３４
平成１６年度	１０	７１８	９２２	８２８	２，４６８
平成１７年度	１５	９５４	１，３５０	８８５	３，１８９
平成１８年度	１８	１，０９５	１，１７０	１，２６３	３，５２８
平成１９年度	２２	１，９８８	２，２２０	１，６２６	５，８３４
平成２０年度	２６	２，８１５	２，９２６	４，１７５	９，９１６
平成２１年度	３０	２，２８５	２，９３６	１，７９７	７，０１８
平成２２年度	３４	３，３１７	５，５８４	２，５１５	１１，４１６
平成２３年度	３８	２，２２７	６，２４３	３，９０８	１２，３７８
平成２４年度	４２	２，６７２	５，９１１	３，１６４	１１，７４７
平成２５年度	４６	３，０９５	６，０５３	３，８７７	１３，０２５
平成２６年度	５０	３，６８８	７，１２８	３，７８５	１４，６０１
平成２７年度	５０	３，７８２	６，９９３	４，４１２	１５，１８７
平成２８年度	５０	３，７４２	７，０２３	４，４０５	１５，１７０
平成２９年度	５０	３，４９２	６，５２１	４，１７６	１４，１８９

主な事業の流れ（イメージ）

○スタッフ会議

事業内容について企画，立案。会議には，児童館職員をはじめ，主任児童委員や，館によっては中高生が携わる。

○中高生への参加募集

地域の中学校等にチラシ，ポスターを配布，掲示。
学校の授業とタイアップする館もある。

○参加親子の募集

児童館利用者や地域での募集

○赤ちゃん講座（１～２回程度）

赤ちゃんとの交流を前に，赤ちゃんの特長やふれあい方を学ぶ。（講師：保健師，助産師，保育士等）

○赤ちゃんとのふれ合い交流（数回実施）

実際に，中高生が赤ちゃんとふれあう。赤ちゃんの保護者からも話を出産や育児についての体験を聞く。

保育所，助産施設の見学や，館外で交流を実施する館もある。

○ふりかえり

事業への参加をとおして，感じたこと，気づいたことを振り返る。

<平成29年度 実施館一覧>

行政区	施設名
北区	たかつかさ児童館
	京都市西賀茂児童館
	京都市上賀茂児童館
上京区	京都市室町児童館
	京都市上京児童館
左京区	京都市養正児童館
	村松児童館
	京都市修学院児童館
	京都市葵児童館
	京都市錦林児童館
	京都市北白川児童館
中京区	京都市じゅらく児童館
	同心児童館
	京都市御前児童館
東山区	京都市今熊野児童館
	京都市新道児童館
山科区	陵ヶ岡児童館
	京都市四ノ宮児童館
	大宅児童館
	山階南児童館
	京都市勸修児童館
下京区	京都市七条第三児童館
	京都市修徳児童館
南区	京都市洛陽児童館
	塔南の園児童館
	京都市中唐戸児童館
	南大内児童館

行政区	施設名
右京区	京都市御室児童館
	京都市嵯峨野児童館
	京都市嵯峨児童館
	京都市葛野児童館
	京都市山ノ内児童館
	京都市梅津北児童館
西京区	福西児童館
	京都市嵐山東児童館
	京都市境谷児童館
	桂坂児童館
	京都市桂川児童館
	京都市川岡東児童館
伏見区	京都市住吉児童館
	京都市深草児童館
	ももやま児童館
	うずらの里児童館
	京都市淀児童館
	はなぶさ児童館
	京都市羽束師児童館
	京都市醍醐中央児童館
	京都市向島南児童館
	京都市納所城之内児童館
	城南児童館

計50館

「青少年と乳幼児のふれあい事業」実施状況（京都市立中学校実施分）

京都市立中学校 技術・家庭科(家庭分野) 平成30年度「幼児と触れ合う活動」実施状況(30年10月15日現在)

1. 中学校 技術・家庭科（家庭分野）の授業について

- 中学校学習指導要領 技術・家庭科（家庭分野）では、実践的・体験的な活動を通して「家族・家庭と子どもの成長」について学ぶこととされ、特に、幼児への関心を深め、関わり方を学習するにあたって「幼稚園や保育所等の幼児と直接触れ合う活動」を実施することが求められている。

新学習指導要領（今年度新入生より移行期間）においても「幼児を観察したり、一緒に遊んだりするなどの直接的な体験を通して、遊びの意義や幼児との関わり方について実感を伴って理解できるよう配慮する」と記載されている。

- 京都市教育委員会では、学習指導要領（現行）に基づき独自の『指導計画』を定めているが、技術・家庭科（家庭分野）では、「幼児の生活と家族」についての学習時間を14時間とし、そのうち、特に「幼児と触れ合う活動」については、事前・事後学習を含め以下の5時間を示している。

	指導内容	生徒の学習内容（学習活動）
①	幼児との触れ合い方を考えよう	幼児の心身の発達に合わせた接し方や遊びの工夫を考える
②	触れ合い活動の計画を立てよう	幼児との触れ合いについての自分の課題を設定し、対象の幼児の発達に合ったかわり方を考えながら計画を立てる
③	幼児と触れ合おう	学習してきたことを基に、楽しく安全に幼児と触れ合う
④	触れ合い活動を振り返ろう	自分の課題に沿って振り返り、触れ合い活動の様子を整理する
⑤	幼児との関わり方の工夫を話し合おう	触れ合い活動で学んだことや、よりよい関わり方について、交流とまとめをする

- 実施校 京都市立中学校 73校中 71校で実施（97.2 %）

家庭分野の授業での触れ合う体験 66校、そのほか、総合的な学習の時間や学校行事（体育大会・文化祭）等で交流を行った学校あり。

2. 幼児と触れ合う活動の例

A 幼稚園・保育所等へ訪問する場合

- ① 施設を訪問し、
元気に挨拶をする。



- ④ グランドで遊ぶ。



- ② グループに分かれて、自己紹介をする。



- ③ 室内で遊ぶ。

手作りメダルをプレゼント

- ⑤ 終わりの挨拶をする。



B 中学校へ招待する場合

- ① 校門で幼児を迎える。
- ② グループに分かれて、始めの挨拶・自己紹介をする。
- ③ 手作りのおもちゃや絵本で遊ぶ。



- ④ 全体で簡単なゲームをする。



リズム体操をする。



- ⑤ 中学生の歌と幼児の歌を聴きあう。



- ⑥ 終わりの挨拶をする。



- ⑦ 校門で幼児を見送る。



3. 実施中学校協力幼稚園・保育所等

中学校	協力幼稚園・保育所等
加茂川	上賀茂児童館
西賀茂	旭ヶ丘保育所, 柊野保育園
旭丘	錦陵幼稚園
衣笠	衣笠子ども園, 衣笠幼稚園
烏丸	心月保育園
上京	みつば幼稚園, 中立保育園
嘉楽	翔鸞幼稚園, 乾隆幼稚園
二条	待賢幼稚園
北野	妙林苑保育園
朱雀	カトリック聖母保育園
京都御池	おいけあした保育園
中京	円町児童館, 御前児童館, 壬生児童館, 同心児童館, 朱雀第三児童館, じゅらく児童館
松原	壬生寺保育園
西ノ京	月かげ保育園
西京附属	安井幼稚園
下京	光林保育園, 修徳児童館
七条	七条幼稚園, 西七条保育園
八条	唐橋児童館
九条	塔南の園児童館
洛南	洛陽児童館, 中唐戸児童館
凌風	東和保育園
久世	京都久世児童館
岡崎	聖カタリナ幼稚園
高野	修学院児童館, 養正児童館
下鴨	養正保育所, マクリン幼稚園
近衛	錦林児童館, 北白川児童館, 吉田児童館
修学院	一乗寺保育園, 修学院保育所, 聖水保育園, 高野川保育園, ふたば幼稚園
洛北	明德幼稚園
大原	京(みやこ)ベビーハウス大原 小野山わらんべ
花背	京(みやこ)ベビーハウス堰源
開晴	善立寺保育園
東山泉	東山幼稚園, 今熊野児童館
山科	東野保育園, ももの木保育園
勧修	柳辻保育園
大宅	おおやけこども園
安祥寺	寺西幼稚園
音羽	永興小金塚子ども園
花山	鏡山保育所

中学校	協力幼稚園・保育所等
蜂ヶ岡	嵯峨野児童館
太秦	蜂ヶ岡保育園, 蜂ヶ岡けやき保育園
嵯峨	まこと幼稚園, 佛教大学付属幼稚園, 嵯峨幼稚園, うぐいす保育園, 若竹保育園, 嵯峨児童館
四条	西院保育園
西京極	西京極幼稚園
梅津	梅ノ宮保育園
西院	西院保育園, 妙覚保育園, 清明保育園, 西院幼稚園, 春日幼稚園, 向上社幼稚園
高雄	佛教大学付属幼稚園
双ヶ丘	御室保育園, 御室幼稚園, 天授ヶ岡幼稚園, こども園ゆりかご
周山	弓削保育所
松尾	松尾幼稚園
桂川	川岡東児童館
檜原	檜原保育園, 西嶺保育園, 桂保育園, 京都白百合保育園, 京都三ノ宮幼稚園
大枝	桂坂保育園
洛西	さかいだに幼稚園, さふらん保育園
西陵	福西保育園
大原野	大原野こども園
深草	うずらの里児童館
藤森	竹田幼稚園, 深草児童館
桃山	世光保育園, 住吉保育園, 住吉西保育園
伏見	伏見板橋幼稚園, 板橋保育園, 住吉保育園, 住吉西保育園, みどり保育園
神川	たんぼぼ保育園, 羽束師保育園, 神川保育園, こが保育園
醍醐	端山の丘こども園
春日丘	辰巳保育所
小栗栖	はなぶさ保育園
栗陵	あけぼの保育園
桃陵	伏見南浜幼稚園
向島	さつき幼稚園
向島東	向島保育園
洛水	横大路保育園
大淀	淀白鳥保育園
小栗栖	はなぶさ
栗陵	大受保育園
春日丘	辰巳保育所

「青少年と乳幼児のふれあい事業」実施状況（京都市立中学校実施分）

京都市立中学校 技術・家庭科(家庭分野) 平成30年度「幼児と触れ合う活動」実施状況(30年10月15日現在)

1. 中学校 技術・家庭科（家庭分野）の授業について

- 中学校学習指導要領 技術・家庭科（家庭分野）では、実践的・体験的な活動を通して「家族・家庭と子どもの成長」について学ぶこととされ、特に、幼児への関心を深め、関わり方を学習するにあたって「幼稚園や保育所等の幼児と直接触れ合う活動」を実施することが求められている。

新学習指導要領（今年度新入生より移行期間）においても「幼児を観察したり、一緒に遊んだりするなどの直接的な体験を通して、遊びの意義や幼児との関わり方について実感を伴って理解できるよう配慮する」と記載されている。

- 京都市教育委員会では、学習指導要領（現行）に基づき独自の『指導計画』を定めているが、技術・家庭科（家庭分野）では、「幼児の生活と家族」についての学習時間を14時間とし、そのうち、特に「幼児と触れ合う活動」については、事前・事後学習を含め以下の5時間を示している。

	指導内容	生徒の学習内容（学習活動）
①	幼児との触れ合い方を考えよう	幼児の心身の発達に合わせた接し方や遊びの工夫を考える
②	触れ合い活動の計画を立てよう	幼児との触れ合いについての自分の課題を設定し、対象の幼児の発達に合ったかわり方を考えながら計画を立てる
③	幼児と触れ合おう	学習してきたことを基に、楽しく安全に幼児と触れ合う
④	触れ合い活動を振り返ろう	自分の課題に沿って振り返り、触れ合い活動の様子を整理する
⑤	幼児との関わり方の工夫を話し合おう	触れ合い活動で学んだことや、よりよい関わり方について、交流とまとめをする

- 実施校 京都市立中学校 73校中 71校で実施（97.2 %）

家庭分野の授業での触れ合う体験 66校、そのほか、総合的な学習の時間や学校行事（体育大会・文化祭）等で交流を行った学校あり。

2. 幼児と触れ合う活動の例

A 幼稚園・保育所等へ訪問する場合

- ① 施設を訪問し、
元気に挨拶をする。



- ④ グラウンドで遊ぶ。



- ② グループに分かれて、自己紹介をする。



- ③ 室内で遊ぶ。

手作りメダルをプレゼント

- ⑤ 終わりの挨拶をする。



B 中学校へ招待する場合

- ① 校門で幼児を迎える。
- ② グループに分かれて、始めの挨拶・自己紹介をする。
- ③ 手作りのおもちゃや絵本で遊ぶ。



- ④ 全体で簡単なゲームをする。



リズム体操をする。



- ⑤ 中学生の歌と幼児の歌を聴きあう。



- ⑥ 終わりの挨拶をする。



- ⑦ 校門で幼児を見送る。



3. 実施中学校協力幼稚園・保育所等

中学校	協力幼稚園・保育所等
加茂川	上賀茂児童館
西賀茂	旭ヶ丘保育所, 柊野保育園
旭丘	錦陵幼稚園
衣笠	衣笠子ども園, 衣笠幼稚園
烏丸	心月保育園
上京	みつば幼稚園, 中立保育園
嘉楽	翔鸞幼稚園, 乾隆幼稚園
二条	待賢幼稚園
北野	妙林苑保育園
朱雀	カトリック聖母保育園
京都御池	おいけあした保育園
中京	円町児童館, 御前児童館, 壬生児童館, 同心児童館, 朱雀第三児童館, じゅらく児童館
松原	壬生寺保育園
西ノ京	月かげ保育園
西京附属	安井幼稚園
下京	光林保育園, 修徳児童館
七条	七条幼稚園, 西七条保育園
八条	唐橋児童館
九条	塔南の園児童館
洛南	洛陽児童館, 中唐戸児童館
凌風	東和保育園
久世	京都久世児童館
岡崎	聖カタリナ幼稚園
高野	修学院児童館, 養正児童館
下鴨	養正保育所, マクリン幼稚園
近衛	錦林児童館, 北白川児童館, 吉田児童館
修学院	一乗寺保育園, 修学院保育所, 聖水保育園, 高野川保育園, ふたば幼稚園
洛北	明德幼稚園
大原	京(みやこ)ベビーハウス大原 小野山わらんべ
花背	京(みやこ)ベビーハウス堰源
開晴	善立寺保育園
東山泉	東山幼稚園, 今熊野児童館
山科	東野保育園, ももの木保育園
勧修	柳辻保育園
大宅	おおやけこども園
安祥寺	寺西幼稚園
音羽	永興小金塚子ども園
花山	鏡山保育所

中学校	協力幼稚園・保育所等
蜂ヶ岡	嵯峨野児童館
太秦	蜂ヶ岡保育園, 蜂ヶ岡けやき保育園
嵯峨	まこと幼稚園, 佛教大学付属幼稚園, 嵯峨幼稚園, うぐいす保育園, 若竹保育園, 嵯峨児童館
四条	西院保育園
西京極	西京極幼稚園
梅津	梅ノ宮保育園
西院	西院保育園, 妙覚保育園, 清明保育園, 西院幼稚園, 春日幼稚園, 向上社幼稚園
高雄	佛教大学付属幼稚園
双ヶ丘	御室保育園, 御室幼稚園, 天授ヶ岡幼稚園, こども園ゆりかご
周山	弓削保育所
松尾	松尾幼稚園
桂川	川岡東児童館
檜原	檜原保育園, 西嶺保育園, 桂保育園, 京都白百合保育園, 京都三ノ宮幼稚園
大枝	桂坂保育園
洛西	さかいだに幼稚園, さふらん保育園
西陵	福西保育園
大原野	大原野こども園
深草	うずらの里児童館
藤森	竹田幼稚園, 深草児童館
桃山	世光保育園, 住吉保育園, 住吉西保育園
伏見	伏見板橋幼稚園, 板橋保育園, 住吉保育園, 住吉西保育園, みどり保育園
神川	たんぼぼ保育園, 羽束師保育園, 神川保育園, こが保育園
醍醐	端山の丘こども園
春日丘	辰巳保育所
小栗栖	はなぶさ保育園
栗陵	あけぼの保育園
桃陵	伏見南浜幼稚園
向島	さつき幼稚園
向島東	向島保育園
洛水	横大路保育園
大淀	淀白鳥保育園
小栗栖	はなぶさ
栗陵	大受保育園
春日丘	辰巳保育所

子どもはぐくみ室における「次世代はぐくみプロジェクト事業」について

1 事業概要

学校等において中高生対象（総合支援学校の生徒を含む）の体験型思春期健康教育を実施し、ライフデザインや妊娠・出産・育児等に係る知識の啓発を行い、子どもたち一人ひとりが理解を深めることにより、自身の将来へ思いを馳せると共に、妊産婦への思いやりのこころを育てる等、社会全体で妊娠・出産・育児を支える一員としての意識を育んでいけるよう取組を進めています。

（１）思春期健康教育の更なる推進

市内の中学校、高等学校等の関係機関と連携し、子どもたち一人ひとりが、将来希望するライフデザインを実現できるよう、妊娠・出産等に関する体験型の思春期健康教育を大学生ボランティア等の協力も得ながら実施することで、「思春期における次世代を育む意識づくり」と、社会全体で妊娠・出産・育児を支える一員としての意識を育みます。

【取組内容】

- 体験型思春期健康教育の実施
- 普及啓発品等の作成
- 大学生ボランティアの活動支援

（２）思春期保健対策ネットワークづくり

思春期の子ども達と関わりをもつ、学校保健や医療機関等の関係機関と地域保健等とが連携してネットワークを構築することで、思春期保健対策の一層の強化を図ります。

【取組内容】

- ネットワーク会議の開催（概ね１年に１～２回）

構成団体：京都府医師会、京都産婦人科医会、京都市学校医会、京都府助産師会、京都市児童館学童連盟、看護系大学、学生ボランティア、教育委員会、子どもはぐくみ室、育成推進課

2 体験型思春期健康教育について

（１）健康教育プログラム（例）

対 象 中学生

所要時間 2時間

時間	内容
13:30	講義「いのちの誕生」(30分)
14:00	体験学習（妊婦体験や赤ちゃん人形だっこ体験、育児体験等）(50分)
14:50	講義「赤ちゃんのいる暮らし～ライフデザインを考えよう～」(20分)
15:10	感想発表
15:30	終了

【参考】思春期健康教育を受けた生徒の感想

- 将来、赤ちゃんを産むことは痛そうだから怖いと思っていたけど、私も将来赤ちゃんを産んで、素敵な温かい家庭を築いてみたいなあと思いました。
- 1番大事だと思ったことは、出産も育児もしっかりとした気持ちじゃないとできないということです。しっかりと責任をもって、赤ちゃんを迎えないとダメだ。自分の将来、父親になった時、しっかりとした知識を身に付けておきたい。
- 赤ちゃんの抱っこ、おむつ換えの体験が印象に残った。赤ちゃんの頭は重く首が座っていないことがどんなに危険か分かった。

講義



人形抱っこ体験



妊婦体験



育児体験



(2) 実績

	平成28年度	平成29年度
中学校	27回	34回
高等学校	11回	8回
計	38回	42回

3 大学生ボランティアとは

市内に在住又は市内の学校に通学する大学生及び専門学校生で、育成推進課が開催する事業説明会を受講した者 登録数：29名（平成30年10月現在）

【活動内容】

- 体験型思春期健康教育の支援
- 思春期保健に関する普及啓発活動への協力
- 思春期保健対策ネットワークづくりへの参画

出張型「ほっこり子育てひろば」の取組について

＜妊娠期乳幼児期部会＞

○こどもみらい館において実施している「ほっこり子育てひろば」のモデル事業を、平成29年度から、ご協力いただける地域、施設に出向いても実施している。実施に当たっては、近隣の事業所からの見学を募り、内容等を「ほっこりニュース」やホームページで紹介等し、「ほっこり子育てひろば」の普及拡大と取組内容の充実を目指している。

29年度では2箇所で開催し、30年度においても2箇所での実施を予定している。

29年度（実績）

○実施場所	西京区役所
日 時	平成29年7月3日（月）10:00～11:20
実施テーマ	親子でいっしょに遊ぼう
参加人数	親10名、子14名
参加者感想	今後の悩みについて、イメージが少しできた。
合同実施者名	西京区保健福祉センター子どもはぐくみ室、久世保育所
見学受入施設	6児童館、1保育園、1つどいの広場
見学感想	・(外部の)ファシリテーターの進行でないと実践できないと思っていた。 ・見学したことで、「ほっこり子育てひろば」のイメージがつかめた。 ・既存事業を活用して実践したい。
○実施場所	紫野児童館（北区）
日 時	平成30年2月14日（水）10:45～11:45
実施テーマ	自我のめばえと生活習慣
参加人数	親12名、子12名
参加者感想	他のお母さん達も同じ悩みをもっていることがわかって心が軽くなった。
合同実施者名	紫野児童館、楽只保育所
見学受入施設	3児童館、1つどいの広場
見学感想	見学して、既存の事業で気楽に取り組めると感じた。

30 年度	(予定)
-------	------

○実施場所	吉田児童館（左京区）
日 時	平成 30 年 11 月 16 日（金） 10:45～11:30
実施テーマ	「自我のめばえと生活習慣」
対象年齢	1 歳半未満児の親子（自由来館での設定 5 組～10 組の予定）

○実施場所	藤森竹田児童館（伏見区）	*日時，内容等未定
-------	--------------	-----------

プロジェクト会議の今後のあり方について

プロジェクト会議は、これまでから「京都はぐくみ憲章」の理念のもと、子どもを育てる喜びや不安、子どもと共に親も育ち学ぶことの重要性等について、グループでの作業や話し合いを通じて交流する「子どもを共に育む『親支援』プログラム（以下「ほっこり子育てひろば」という。）」の作成や、その取組状況の検証を行うなど、親同士や地域で子育てを支援していく京都市ならではの「はぐくみ文化」の醸成に大きな役割を果たして来ました。

一方で、平成20年10月の発足から10年が経過する中で、「ほっこり子育てひろば」の作成段階を終え、取組状況の報告、検証が中心となってきたことから、平成30年3月28日に開催したプロジェクト会議において、事務局から「プロジェクト会議の今後のあり方」を議論していくことについて御提案しておりました。

今般、プロジェクト会議の今後のあり方について、プロジェクト会議の機能を、今年度新たに設置した「京都市はぐくみ推進審議会（以下「はぐくみ審議会」という。）」に移行し、より幅広い議論を展開できる会議へ再構築することについて以下のとおり御提案いたします。

1 はぐくみ審議会の概要について（参考1参照）

(1) 趣旨・目的

- 妊娠前から妊娠出産までの方とその家庭、乳幼児から若者まで（0歳～30歳代）とその家庭を対象とした「切れ目ない支援」を推進するために、平成31年度中に新たに策定を予定している子ども・若者に係る総合的な計画に係る調査・審議及び進ちょく管理
- その他、子ども・若者に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び施策の実施状況に関する意見聴取 等

(2) 概 要

設置年月：平成30年4月1日

委員定数：30名以内（必要に応じ特別委員を置く。）

委員任期：2年（補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。）

委員構成：有識者、支援従事者・関係団体、労働者代表、企業・経営者、
市民公募委員 等

会長・副会長：互選

分科会：児童福祉法第8条第3項の規定により設置することとされている
「児童福祉審議会」として、「児童福祉分科会」を設置する。

部 会：新計画策定に係り、検討すべき課題について個別又は横断的に審議する部会を設置し、集中的に審議を行う。

2 はぐくみ審議会における新たな役割と位置付け等について（参考2参照）

(1) 新たな部会の役割

- これまでのプロジェクト会議での機能を継承し、引き続き「ほっこり子育てひろば」の取組状況の報告及び検証を行う。
- 親自身の「親」としての学びと育ち、親となる世代の親学びの支援について、「ほっこり子育てひろば」以外の親支援に係るプログラムも含めた幅広い議論を実施し、親支援全体の更なる促進と今後のあり方を検討する。
- 上記の議論を踏まえ、本市において平成31年度中に策定する平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画」に関する意見聴取を行う。

(2) 新たな位置付け

プロジェクト会議を京都市はぐくみ推進審議会に移行し、「新たな部会」として位置付ける。

新たな部会の名称（案）：親育ち促進部会

(3) 新たな部会の設置時期

平成31年4月1日（予定）

(4) 部会員の人选

審議内容を適切に調査・審議できる最小限の人数で会議を開催する予定。現在プロジェクト会議に参画している関係機関に対して参画を依頼し、部会員を推薦してもらう。

(5) 部会に所属する委員の位置付け

京都市はぐくみ推進審議会条例に基づく、委員又は特別委員。

(6) 京都市職員の位置付け

現行のプロジェクト会議においては、「市行政関係」という位置づけで会議の構成員となっているが、「京都市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づき、会員、構成員ではなく「事務局」として位置付ける。

3 スケジュールについて

平成30年10月31日 平成30年度第1回プロジェクト会議

11月～ 第1回会議での意見聴取の結果を受けて決定した方向性等について事務局がはぐくみ審議会と協議

平成31年4月1日（予定） 現行のプロジェクト会議をはぐくみ審議会に移行し、「新たな部会」として設置

京都市はぐくみ推進審議会

【全体会議】（年１～２回程度）

- 妊娠・出産，乳幼児から若者までの「切れ目ない支援」を推進するための調査・審議を行う。
- 新計画全体に係る事項について審議
- 定数３０名の委員で構成
- 各部会の審議内容を報告（新計画の詳細の検討及び現計画の進捗管理）

児童福祉分科会

児童支援・里親部会

市営保育所移管先選定部会

認可・確認部会

子ども
（０歳～おおむね１８歳未満）

若者
（おおむね１３歳～３０歳代）

【部 会】（別紙２参照）

- 子ども・若者の健全育成や活動促進等に係る事項について検討する部会と，特別な支援が必要な子ども・若者に係る事項について検討する部会を設置する。
- 新計画策定に係り，検討すべき課題について個別又は横断的に審議することとし，平成３０年度から平成３１年度にかけて集中的に審議を行う。
- 専門的に調査・審議するため，必要に応じて特別委員を委嘱する。
- 審議内容が複数の部会に関係する場合，共同部会を開催する。
- 新計画策定後に見直しを行い，特に必要と認める部会のみを設置する。

児童福祉法第８条第３項の規定により設置

プロジェクト会議の新たな位置付けについて

京都市はぐくみ推進審議会

共通又は他の
部会に属さな
い事項を審議

①子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり部会

調査・審議内容：少子化をはじめとした子ども・若者を取り巻く環境への
対応及び情報発信について
子どもから若者までの「切れ目ない支援」のあり方について

【新規】親育ち促進部会（案）

設置時期：平成31年4月1日（予定）

委員構成：現行のプロジェクト会議と同様に各関係機関から推薦いた
だいた方々で構成

調査・審議内容：親支援プログラムの取組状況の報告及び検証
子ども若者はぐくみ局で所管する他の事業も含めた親支援
プログラムの更なる促進と今後のあり方の検討を目的とし
た幅広い議論を実施

②親子いきいき保健部会（京都市母子保健計画検討のため）

調査・審議内容：安心して妊娠・出産できるまちづくりについて
保健（母子保健，思春期保健）に関する施策全般について

③幼保推進部会（子育て安心プラン等検討のため）

調査・審議内容：幼児教育・保育に係る専門的な内容について
「子ども・子育て支援事業計画（幼児教育・保育）」に
係る施策等について

④子どもの健全育成推進部会（京都市放課後子ども総合プラン検討のため）

調査・審議内容：児童館自由来館機能，学童クラブ，就学前の子育て支援
（つどいの広場等）について

⑤教育環境づくり部会

調査・審議内容：教育環境に関すること全般について

⑥青少年活動促進部会

調査・審議内容：青少年施策等に関すること全般について

⑦社会的困難を抱える青少年支援部会

調査・審議内容：不登校（小学生含む），ひきこもり，ニート等の社会的困難
を抱える青少年への切れ目ない専門的な支援について

⑧支援を必要とする子どものための部会

（京都市家庭的養護推進計画，障害児福祉計画検討のため）

調査・審議内容：支援を必要とする児童（虐待や障害）へ支援のあり方について
「家庭的養護推進計画」に係る施策等について

⑨ひとり親家庭支援部会（京都市ひとり親家庭自立促進計画検討のため）

調査・審議内容：ひとり親家庭に関する施策等について
「ひとり親家庭自立促進計画」に係る施策等について

子ども・若者の健全育成や活動促進等に係る事項について検討する部会

特別な支援が必要な子ども・若者に
係る事項について検討する部会